

令和7年度栗原市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

国が令和7年3月に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」によると、令和6／7年の主食用米の需要量は674万トン、令和7年6月末の在庫量は158万トンと見込まれています。

宮城県においても、令和6年6月末の民間在庫量は過去最低水準となり、令和6年産米のJA概算金は2度の引き上げが行われ、ひとめぼれ1等米で60キログラムあたり21,500円となりました。

近年まれにみる買い取り価格の上昇に、市内生産者の農業所得向上への期待と主食用米への取り組み意欲が高まり、令和7年産の作付け面積は前年より増加しておりますが、米価を安定させるためには、需要に即した生産調整に取り組む必要があります。

このようなことから、栗原市農業再生協議会では、米の需給バランスを適切に保ち、米価と農家所得の安定を図るため、主食用米から、大豆、麦類、飼料作物等の戦略作物、収益性の高い園芸作物への作付けを推進してまいります。併せて、需要拡大が見込まれる新市場開拓用米や加工用米への転換に対する支援も行なってまいります。

また、喫緊の課題といえる生産者の高齢化や後継者不足問題に対応するため、栗原市地域計画に基づき担い手への農地の集積・集約化や、スマート農業の導入による作業の省力化、環境負荷軽減に向けた取り組みの推進を通じて、次世代につなぐ持続可能な農業の実現を目指してまいります。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市の農業は、米と畜産に偏重した生産構造となっており、水田における高収益が期待される園芸作物の導入は限定的な状況にあり、農業者の所得向上を図るためには、今後、需要の拡大が見込まれる加工・業務用用途の「たまねぎ」や「食用ばれいしょ」などを地域重点振興作物として位置づけ、その導入と作付拡大を計画的に推進していく必要があります。

転作作物に関しては、大豆や飼料作物といった土地利用型作物に加え、水稻の作型を維持したまま取り組める備蓄用米、加工用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米が中心となっています。このうち新市場開拓用米については、今後の需要拡大が期待されている一方で、多収品種の導入が進んでおらず、収益性においては他地域に比べて劣る傾向にあります。このため、収益性の向上と経営安定を図るために、低コストかつ安定的な生産体制の確立に向けた取り組みを推進していきます。

併せて、本市には良質な堆肥が豊富にあるという地域資源を活用し、耕畜連携による環境保全型農業の推進を図っています。加えて、需要に応じた主食用米の安定供給を維持するとともに、大豆や飼料作物の団地化を進めることで、さらなる生産コストの削減を目指していきます。

さらに、ほ場整備事業の実施を契機とした高収益作物の導入に向けたモデル的な取り組みが一部の地区で進められています。今後は、県やJAとの連携のもと、品目の選定や栽培技術の普及を一層推進し、特にほ場整備地区を中心に、「たまねぎ」や「食用ばれいしょ」などの高収益作物の作付け誘導と団地化を推進していきます。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市には、基盤整備事業により整備された農地のほか、中山間地を中心に未整備の農地も多く存在しており、作付け可能な作物に限られることから、担い手への農地の集積・集約が進みにくい要因となっています。

今後、これらの農地に対して畑地化促進事業などを活用し、畑地化を推進するとともに、令和7年3月に策定した地域計画については、農業者などの意向を踏まえて見直しを行い、農地の集積・集約化を進めることで、実効性のある計画となるよう取り組んでいきます。

さらに、ブロックローテーション体系の構築に向けては、当地域が開田や中山間地、平地など多様な圃場条件を有することを踏まえ、農業者の意向を尊重しながら、取り組み可能な地域から順次検討を進めていきます。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

全国的な米不足の影響により、米価が上昇したことを受け、主食用米の作付面積が増加傾向にあり、米価の低下につながることから、需給バランスを維持するため「生産の目安」に応じた作付けを推進します。

(2) 備蓄米

国の動向を注視しつつ、地域の生産者が備蓄米の取り組みに柔軟かつ的確に対応できるよう、必要な支援を行っていきます。

※備蓄米については、令和7年産米の備蓄米に関する政府買入の動向を踏まえ、主食用米及び非主食用米等へ変更する場合があります。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

配合飼料価格の高騰を背景に自給飼料への関心が高まる中、飼料用米については、国が令和6年産から一般品種に対する助成単価を段階的に引き下げ、多収品種への転換を促す方針を示しています。

こうした状況の中、一般品種の作付比率が高い本市においては、飼料用米の作付面積が減少傾向にあります。このため、「東北211号」や「ふくひびき」などの専用品種への作付転換を推進し、生産者の所得向上と飼料用米の安定供給体制の確立に努めていきます。

イ 米粉用米

グルテンフリー食品をはじめとする米粉需要の拡大が見込まれる中、米粉用米の安定供給に向けて、低コストでの生産体制の確立を図り、取り組みを推進していきます。

ウ 新市場開拓用米

需要の拡大が見込まれる新市場開拓用米については、安定的な供給体制の確立に向けて、実需者との連携を強化し、産地化を見据えた生産体制の構築・拡大を推進していきます。

エ WCS用稲

飼料価格が高止まりする中、耕畜連携による持続的な取り組みにより飼料自給率

の向上が期待されることから、需要に応じた適正な水準での作付けを推進していきます。

また、畜産農家など実需者と密接に連携した産地づくりをめざし、供給先を確保した上での作付拡大の取り組みを支援していきます。

オ 加工用米

酒造用や加工食品用を中心に、作付け拡大および低コスト生産に向けた取り組みを支援していきます。

(4) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦

令和7年度から新たに小麦の作付けを行う経営体があることから、県やJAと連携し、技術指導を通じて品質の向上と収量の安定化を支援します。

併せて、畑作物産地形成促進事業などを活用し、排水対策や病虫害防除の徹底による高品質化を図るとともに、省力化や団地化を進めることで、生産性の向上を推進していきます。

イ 大豆

本市においては、「ミヤギシロメ」や「タチナガハ」を中心に大豆の作付けが行われています。

今後は、品種ごとの需要に応じた作付けの誘導を進めるとともに、団地化や連坦化を推進することで、低コストでの生産体制の確立をめざします。

また、これらの取り組みにより、収量の安定化と品質の向上を図っていきます。

ウ 飼料作物

戦略作物に対する助成単価の見直しや、農業者の高齢化の進行に伴い、飼料作物の作付面積は減少傾向にあります。

また、飼料価格の高止まりが続いていることから、耕畜連携による持続可能な取り組みを推進し、団地化による低コストな生産体制の構築を目指していきます。

(5) そば

そばの作付けは、中山間地など条件の不利な圃場での取り組みが多いことから、明渠や暗渠などを活用した排水対策を進め、品質の向上と収量の安定化を目指していきます。

(6) 地力増進作物

収益性の高い作物の生産には、有機物の還元による土づくりが不可欠であることから、地力増進作物の導入・活用を通じて、土づくりの取り組みを推進していきます。

(7) 高収益作物

水田における高収益が見込まれる園芸作物の作付割合は低く、農業者の所得向上を図るためには、収益性の高い園芸作物の導入拡大が課題となっています。こうした状況を踏まえ、「食用ばれいしょ」や「たまねぎ」など9品目の地域重点振興作物を中心に作付けの拡大を推進していきます。併せて、今後の需要拡大が見込まれる加工・業務用野菜の推進にも取り組んでいきます。

○地域重点振興作物（9品目）

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| ・かぼちゃ | ・きゅうり | ・スナップエンドウ |
| ・ほうれんそう | ・未成熟そらまめ | ・キャベツ |

- ・ズッキーニ
- ・食用ばれいしょ
- ・たまねぎ

○地域振興作物（18品目）

- | | | | |
|---------|----------|--------|-------|
| ・ねぎ | ・スイートコーン | ・らっきょう | ・いちご |
| ・トマト | ・れんこん | ・きく類 | ・山菜 ※ |
| ・ピーマン | ・ししとう | ・じねんじょ | ・なばな類 |
| ・アスパラガス | ・ブルーベリー | ・えだまめ | ・芝草 |
| ・モロヘイヤ | ・さつまいも | | |

※山菜は、しいたけ、ひらたけ、まいたけ、むきたけ、わらび、たらの芽、ぜんまい、ウド、行者にんにく、畑わさび

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	8,638.00	0.00	8,370.00	0.00	7,888.00	0.00
備蓄米	553.27	0.00	333.00	0.00	600.00	0.00
飼料用米	345.20	0.00	300.00	0.00	300.00	0.00
米粉用米	8.82	0.00	10.00	0.00	10.00	0.00
新市場開拓用米	77.36	0.00	110.00	0.00	150.00	0.00
WCS用稲	882.47	0.00	883.00	0.00	800.00	0.00
加工用米	30.34	0.00	50.00	0.00	40.00	0.00
麦	0.00	0.00	15.00	0.00	20.00	0.00
大豆	830.86	0.00	1,000.00	0.00	1,000.00	0.00
飼料作物	1,284.00	24.01	1,300.00	25.00	1,400.00	35.00
・子実用とうもろこし	5.03	0.00	5.05	0.00	6.00	0.00
そば	31.47	0.00	31.50	0.00	33.00	0.00
なたね	0.42	0.00	0.45	0.00	0.50	0.00
地力増進作物	1.00	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00
高収益作物 (①+②+③+④)	358.53	0.00	378.54	0.00	415.66	0.00
野菜(計)①	277.59	0.00	297.04	0.00	330.67	0.00
かぼちゃ	42.52	0.00	50.00	0.00	55.00	0.00
きゅうり	15.90	0.00	17.00	0.00	19.50	0.00
スナップエンドウ	0.49	0.00	0.50	0.00	1.50	0.00
ほうれんそう	3.05	0.00	2.50	0.00	4.00	0.00
未成熟そらまめ	4.96	0.00	5.50	0.00	6.50	0.00
キャベツ	2.26	0.00	2.50	0.00	3.00	0.00
ズッキーニ	10.75	0.00	10.80	0.00	12.00	0.00
ねぎ	24.53	0.00	27.00	0.00	30.00	0.00
スイートコーン	7.47	0.00	7.50	0.00	9.00	0.00
らっきょう	0.80	0.00	1.00	0.00	1.30	0.00
いちご	6.10	0.00	6.50	0.00	7.00	0.00
トマト	13.35	0.00	14.50	0.00	15.00	0.00
れんこん	10.03	0.00	10.10	0.00	12.00	0.00
山菜	5.68	0.00	5.70	0.00	6.00	0.00
ピーマン	1.16	0.00	1.20	0.00	1.50	0.00
ししとう	0.59	0.00	0.60	0.00	1.00	0.00
じねんじょ	0.43	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
なばな類	0.01	0.00	0.10	0.00	1.00	0.00
アスパラガス	1.29	0.00	1.30	0.00	1.20	0.00
えだまめ	2.69	0.00	3.00	0.00	8.00	0.00
モロヘイヤ	0.26	0.00	0.40	0.00	0.50	0.00
なす	9.69	0.00	10.00	0.00	12.00	0.00
すいか	0.95	0.00	1.00	0.00	1.20	0.00
メロン	0.26	0.00	0.26	0.00	0.30	0.00
はくさい	0.87	0.00	0.87	0.00	0.80	0.00
たまねぎ	9.18	0.00	10.00	0.00	15.00	0.00

レタス	0.00	0.00	0.10	0.00	0.15	0.00
だいこん	1.48	0.00	2.00	0.00	2.50	0.00
にんじん	0.16	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00
さといも	1.38	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
青さやいんげん	0.15	0.00	0.25	0.00	0.40	0.00
食用ばれいしょ	28.71	0.00	30.00	0.00	35.00	0.00
食用かんしょ	2.34	0.00	2.50	0.00	1.50	0.00
しろうり	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00
オクラ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00
ブロッコリー	0.30	0.00	0.30	0.00	0.90	0.00
しゅんぎく	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
パセリ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
しそ	0.41	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
にんにく	0.95	0.00	1.00	0.00	1.10	0.00
にら	0.31	0.00	0.40	0.00	0.50	0.00
みょうが	0.43	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
かぶ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.03	0.00
ごぼう	0.11	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
カリフラワー	0.00	0.00	0.10	0.00	0.14	0.00
クレソン	0.03	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00
せり	0.20	0.00	0.20	0.00	0.17	0.00
くわい	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
ゴーヤ	0.00	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00
ヤーコン	0.00	0.00	0.30	0.00	0.60	0.00
ゆうがお	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
その他湛水性野菜	0.18	0.00	0.18	0.00	0.10	0.00
ふき	1.13	0.00	1.15	0.00	1.20	0.00
わさび	0.75	0.00	0.75	0.00	0.04	0.00
その他野菜	63.19	0.00	64.00	0.00	58.00	0.00
花き・花木（計）②	13.51	0.00	13.85	0.00	15.40	0.00
きく	3.12	0.00	3.20	0.00	3.20	0.00
トルコギキョウ	0.05	0.00	0.05	0.00	0.50	0.00
その他花き	1.94	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00
花木	8.40	0.00	8.50	0.00	8.50	0.00
ハス	0.00	0.00	0.10	0.00	0.20	0.00
果樹（計）③	38.78	0.00	38.82	0.00	40.00	0.00
ブルーベリー	4.96	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
その他果樹	33.82	0.00	33.82	0.00	35.00	0.00
その他の高収益作物（計）④	28.65	0.00	28.83	0.00	29.59	0.00
芝草	22.10	0.00	22.20	0.00	22.20	0.00
加工用青刈り稲	0.55	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
えごま	0.46	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
小豆	1.47	0.00	1.50	0.00	1.70	0.00
種苗類	3.99	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
こんにゃく	0.08	0.00	0.08	0.00	0.14	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・その他作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
畑地化	1.90	0.00	3.90	0.00	5.00	0.00

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作）	大豆団地加算 （団地面積が [※] 4ha以上）	取組面積 10a当たり労働時間	(6年度) 671.77ha (6年度) 7.19h/10a	(8年度) 770.00ha (8年度) 6.4h/10a
2	麦（基幹作）	麦団地加算 （団地面積が [※] 4ha以上）	取組面積 10a当たり収量	(6年度) 0ha (6年度) 0kg/10a	(8年度) 20.00ha (8年度) 320kg/10a
3	飼料作物（基幹作）	飼料作物団地加算① （団地面積が [※] 4ha以上）	取組面積 10a当たり労働時間	(6年度) 202.50ha (6年度) 混播牧草8.5h/10a 飼料用トウモロコシ4.8h/10a イタリアンライグラス4.1h/10a	(8年度) 204.00ha (8年度) 混播牧草7.7h/10a 飼料用トウモロコシ4.7h/10a イタリアンライグラス3.7h/10a
4	飼料作物（基幹作）	飼料作物団地加算② （団地面積が [※] 4ha以上）	取組面積 10a当たり労働時間	(6年度) 481.24ha (6年度) 13.21h/10a	(8年度) 580.00ha (8年度) 13.00h/10a
5	飼料用米（基幹作）	飼料用米の作付拡大 助成	作付面積 拡大面積	(6年度) 345.20ha (6年度) 11.65ha	(8年度) 300.00ha (8年度) 11.00ha
6	加工用米（基幹作）	加工用米の作付拡大 助成	作付面積 拡大面積	(6年度) 30.35ha (6年度) 15.78ha	(8年度) 40.00ha (8年度) 10.00ha
7	飼料用米の生産ほ場の 稲わら（基幹作）	耕畜連携助成（わら 利用）	取組面積 飼料用米の作付面積に対 する対象面積の割合	(6年度) 176.81ha (6年度) 51.22%	(8年度) 180.00ha (8年度) 60.00%
8	粗飼料作物等（基幹 作）	耕畜連携助成（資源 循環）	取組面積 飼料作物生産面積に対す る対象面積の割合	(6年度) 886.07ha (6年度) 40.82%	(8年度) 950.00ha (8年度) 43.18%
9	飼料作物（二毛作）	二毛作助成	取組面積 取組件数	(6年度) 24.01ha (6年度) 11件	(8年度) 35.00ha (8年度) 11件
10	栗原市農業ビジョンに 定めた地域振興作物 （いちご、トマト ほ か個票に記載のとおり） （基幹作）	地域振興作物助成	地域振興作物助成の作付 面積 作付面積に対する割合	(6年度) 63.55ha (6年度) 60.64%	(8年度) 80.00ha (8年度) 64.30%
11	栗原市農業ビジョンに 定めた地域重点振興作 物（きゅうり、ほうれ んそう ほか個票に記 載のとおり）（基幹 作）	地域重点振興作物助 成	地域重点振興作物助成の 作付面積 目標に対する割合	(6年度) 50.79ha (6年度) 42.86%	(8年度) 90.00ha (8年度) 59.40%
12	野菜（食用ばれい しょ、たまねぎ） （基幹作）	加工業務用園芸助成	助成対象の作付面積 作付面積に対する面積割 合	(6年度) 4.80ha (6年度) 13.00%	(8年度) 10.00ha (8年度) 20.00%
13	そば（基幹作）	そば収量向上対策助 成	水田作でのそばの取組面 積 そば収量	(6年度) 8.75ha (6年度) 48.2kg/10a	(8年度) 13.00ha (8年度) 55.0kg/10a
14	野菜、花き・花木、 果樹、その他作物 （基幹作）	その他作物助成	助成対象作物の作付面積 作付面積に対する割合	(6年度) 6.44ha (6年度) 5.42%	(8年度) 21.00ha (8年度) 16.80%
15	栗原市農業ビジョンに 定めた地域振興作物 （いちご、トマト ほ か個票に記載のとおり） （基幹作）	地域振興作物団地集 積助成	地域振興作物の作付面積 地域振興作物の団地面積	(6年度) 63.55ha (6年度) 51.35ha	(8年度) 80.00ha (8年度) 70.00ha
16	栗原市農業ビジョンに 定めた地域重点振興作 物（きゅうり、ほうれ んそう ほか個票に記 載のとおり）（基幹 作）	地域重点振興作物団 地集積助成	地域重点振興作物の作付 面積 地域重点振興作物の団地 面積	(6年度) 50.79ha (6年度) 30.38ha	(8年度) 90.00ha (8年度) 70.00ha
17	新市場開拓用米 （基幹作）	新市場開拓用米助成	取組面積 収量	(6年度) 77.37ha (6年度) 543kg/10a	(8年度) 150.00ha (8年度) 600kg/10a
18	そば（基幹作）	そば振興助成【国 枠】	取組面積	(6年度) 30.60ha	(8年度) 33.00ha
19	新市場開拓用米 （基幹作）	新市場開拓用米取組 拡大助成【国枠】	取組面積	(6年度) 77.37ha	(8年度) 150.00ha
20	地力増進作物（基幹 作）	地力増進作物作付助 成【国枠】	取組面積	(6年度) 0.25ha	(8年度) 2.00ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:宮城県

協議会名:栗原市農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	大豆団地加算 (団地面積が4ha以上)	1	7,000	大豆(基幹作)	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・大豆300A技術等の取組みを1つ以上 ・収量、品質を向上させる取組み(別表2)を1つ以上
2	麦団地加算 (団地面積が4ha以上)	1	7,000	麦(基幹作)	1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化
3	飼料作物団地加算① (団地面積が4ha以上)	1	4,000	飼料作物(基幹作)	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
4	飼料作物団地加算② (団地面積が4ha以上)	1	4,000	飼料作物(基幹作)	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
5	飼料用米の作付拡大助成	1	6,000	飼料用米(基幹作)	対象作物の前年度からの拡大面積に応じて支援
6	加工用米の作付拡大助成	1	8,000	加工用米(基幹作)	対象作物の前年度からの拡大面積に応じて支援
7	耕畜連携助成(わら利用)	3	6,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら(基幹作)	利用供給協定に基づき実施する飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組であること。
8	耕畜連携助成(資源循環)	3	6,000	粗飼料作物等(基幹作)	水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等を作付する又は作付した水田に施肥する取組であること。
9	二毛作助成	2	6,000	飼料作物(二毛作)	・実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫、出荷・販売を行うこと。 ・飼料作物は、実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
10	地域振興作物助成	1	12,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物(いちご、トマト ほか個票に記載のとおり)(基幹作)	野菜、花き・花木、その他作物については、実需者等への出荷・販売等を行うこと。果樹等の収穫まで1年以上を要する作物については、地域の栽培指針に沿った肥培管理を行うこと。
11	地域重点振興作物助成	1	15,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物(きゅうり、ほうれんそう ほか個票に記載のとおり)(基幹作)	収穫し、実需者等へ出荷・販売を行うこと。
12	加工業務用園芸助成	1	13,000	野菜(食用ばれいしょ、たまねぎ)(基幹作)	・収穫し、実需者等への出荷・販売を行うこと。 ・1作物0.5ha以上の連坦団地を構成している。または0.5ha以上の作業集積が行われていること。
13	そば収量向上対策助成	1	3,000	そば(基幹作)	・収穫し、実需者等へ出荷・販売を行うこと。 ・条播種の実施及び明渠による排水対策に取り組むこと。
14	その他作物助成	1	3,000	野菜、花き・花木、果樹、その他作物(基幹作)	野菜、花き・花木、その他作物については、実需者等への出荷・販売等を行うこと。果樹等の収穫まで1年以上を要する作物については、地域の栽培指針に沿った肥培管理を行うこと。
15	地域振興作物団地集積助成	1	9,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物(いちご、トマト ほか個票に記載のとおり)(基幹作)	1作物0.2ha以上の連坦団地を構成している。または1作物0.2ha以上の作業集積が行われていること。
16	地域重点振興作物団地集積助成	1	12,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物(きゅうり、ほうれんそう ほか個票に記載のとおり)(基幹作)	1作物0.2ha以上の連坦団地を構成している。または1作物0.2ha以上の作業集積が行われていること。
17	新市場開拓用米助成	1	13,000	新市場開拓用米(基幹作)	・加工用米等取組計画書が受理されていること。 ・実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
18	そば振興助成【国枠】	1	20,000	そば(基幹作)	実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
19	新市場開拓用米取組拡大助成【国枠】	1	20,000	新市場開拓用米(基幹作)	・加工用米等取組計画書が受理されていること。 ・実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
20	地力増進作物作付助成【国枠】	1	20,000	地力増進作物(基幹作)	大豆、高収益作物を販売目的で作付けする前に地力増進作物を作付けし、すき込みを行うこと。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。